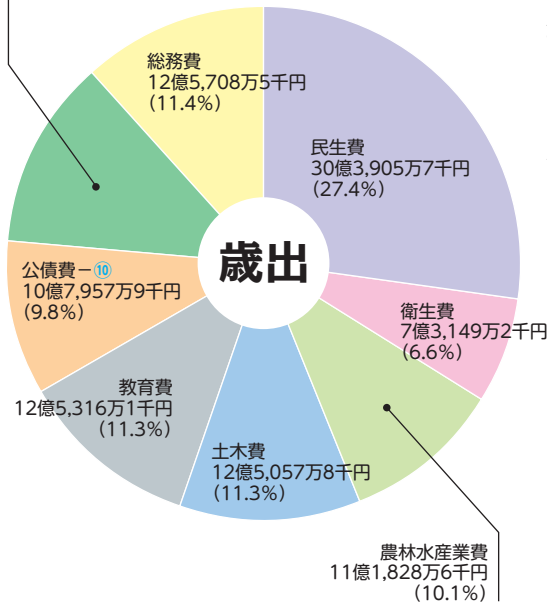


平成31(2019)年度予算概要

一般会計予算額は前年度当初比 2.1%減の110億7,257万8千円

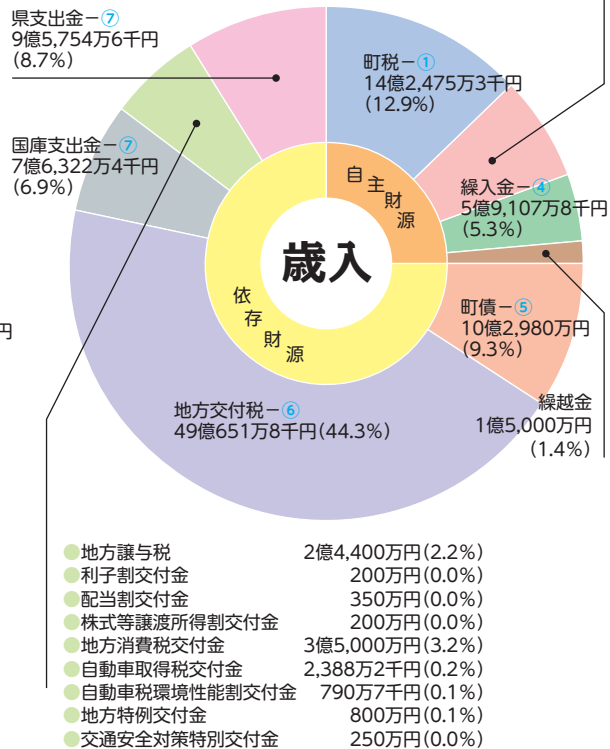
一般会計歳出(目的別)

- 議会費 1億1,331万3千円(1.0%)
- 労働費 354万4千円(0.0%)
- 商工費 5億19万円(4.5%)
- 消防費 6億9,209万円(6.3%)
- 災害復旧費 108万1千円(0.0%)
- 諸支出金 1,312万2千円(0.1%)
- 予備費 2,000万円(0.2%)



一般会計歳入

- 負担金および分担金 425万円(0.0%)
- 使用料および手数料 1億8,415万5千円(1.7%)
- 財産収入 2,589万8千円(0.2%)
- 寄付金 1,234万4千円(0.1%)
- 諸収入 3億7,922万3千円(3.4%)



※()内は構成比

※歳入・歳出ともに端数を処理しているため、合計額とは一致しません。

自主財源-⑧ 27億7,170万1千円(25.0%)
依存財源-⑨ 83億87万7千円(75.0%)

平 成31(2019)年度当初予算が、3月1日から18日まで開会された町議会定例会で可決されました。

一般会計当初予算は110億7,257万8千円で、前年度当初比2億4,131万4千円(2.1%)の減となりました。

一般会計歳入

自主財源のうち、町税は平成30年産の米価上昇による農業所得の増加や、景気の回復傾向に伴う給与所得の増加を見通した町民税、軽自動車税やたばこ税の増額を見込み、前年度当初比0.6%増の14億2,475万3千円で、歳入予算の12.9%を占めています。また、線入金は地域振興を図るための振興基金や公共施設整備基金等を優先して繰り入れ、後年度の多様な財政需要に充てられるよう、財政調整基金からの繰り入れを控えています。依存財源のうち、地方交付税は平成30年度と同様に、普通交付税の一本算定に伴う減額を見込み、同1.7%減の49億651万8千円となりました。また、町債は過疎対策事業債や合併特例債などを事業により選択するとともに、プライマリーバランス(⑬)に留意し、町債額が償還元金総額を上回らないように配慮し、同7.2%減の10億2,980万円となりました。

一般会計歳出

第2次美郷町総合計画(後期行動計画)の着実な推進を意識した予算編成としています。経常的経費は、平成26年度からの財政健全化の取り組みを引き続き実施します。政策的経費

平成31(2019)年度 水道事業会計予算

計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、引き続き安定した水道水を供給するため、地方公営企業法を適用した企業会計となっています。なお、水道事業会計には減価償却費等が含まれているため、収入に比べ支出が多くなっています。

収入:5億8,301万8千円(▲6.1%)
支出:6億8,447万6千円(▲2.9%)

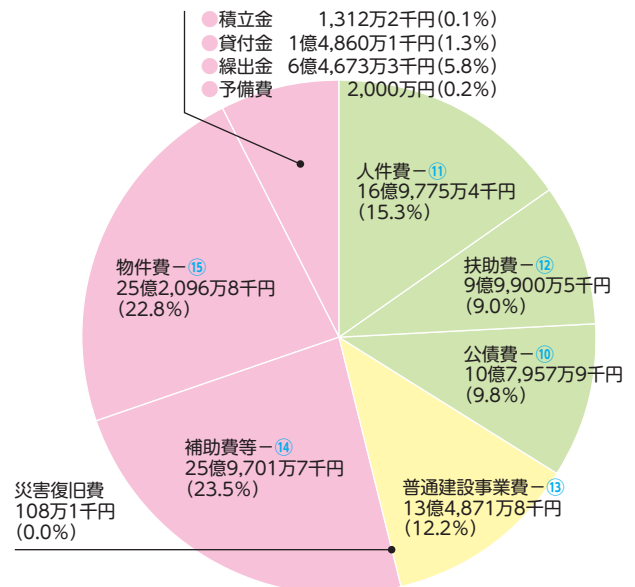
※()内は前年度当初比

キーワード

グラフや本文中の①から⑱の用語を説明します

- ① **町税**:町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など。
- ② **負担金および分担金**:町が特定の事業を行う場合に、その経費に充てるため、特別に関係のある人から経費の全部または一部を徴収したお金のこと。
- ③ **使用料および手数料**:町の施設の使用料や、証明書等発行の際の手数料など。
- ④ **繰入金**:各基金から一般会計に繰り入れられるお金のこと。
- ⑤ **町債**:町が資金調達のために行う長期借入(借金)のこと。
- ⑥ **地方交付税**:自治体ごとの税収の差をならし、どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分するお金のこと。
- ⑦ **国庫・県支出金**:特定の事業をするために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金のこと。
- ⑧ **自主財源**:町税や使用料・手数料など、町が独自に調達するお金のこと。
- ⑨ **依存財源**:地方交付税や国庫・県支出金など、国や県から入ってくるお金のこと。
- ⑩ **公債費**:地方債の元金と利子などの返済に充てる経費のこと。
- ⑪ **人件費**:職員の給与、議員や委員の報酬などの経費のこと。
- ⑫ **扶助費**:高齢者や児童、障がい者などを援助するための経費のこと。
- ⑬ **普通建設事業費**:道路や橋りょう、学校、公共施設などの建設に要する経費のこと。
- ⑭ **補助費等**:一部事務組合や各種団体などへ負担金、補助金として支払う経費のこと。
- ⑮ **物件費**:臨時職員の賃金、事業の委託料、郵便料や印刷製本費などの経費のこと。
- ⑯ **義務的経費**:法令やその性質により、支出が義務付けられている経費(人件費・扶助費・公債費)のこと。全体に占める割合が高いほど財政の硬直化を示す。
- ⑰ **投資的経費**:支出の効果が社会資本の形成に向けられる経費(普通建設事業費・災害復旧費)のこと。全体に占める割合が高いほど歳出の自由度が高いといえる。
- ⑱ **プライマリーバランス**:町債収入を除いた歳入と公債費を除いた歳出の差のこと。この差が黒字になると借金に頼らない行政サービスをしていることを示す。

一般会計歳出(性質別)



平成31(2019)年度 特別会計予算

特別会計予算総額は28億4,562万5千円

美郷町には4つの特別会計があります。特別会計とは、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する必要がある場合に設ける会計です。

各会計の平成31(2019)年度予算額は次のとおりです。

国民健康保険特別会計	22億3,698万2千円(▲1.2%)
下水道事業特別会計	2億308万2千円(▲1.7%)
農業集落排水事業特別会計	2億613万9千円(▲8.5%)
後期高齢者医療特別会計	1億9,942万2千円(0.9%)

※()内は前年度当初比

は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての機運をさらに高める取り組みや、産業・観光振興に係る交流促進の取り組みを実施します。

目的別では民生費が最も多く、前年度当初比4.2%減の30億3,905万7千円で、歳出予算の27.4%を占めています。次いで、総務費が同8.5%増の12億5,708万5千円、教育費が同1.1%減の12億5,316万1千円となりました。

性質別では補助費等が最も多く、同2.1%増の25億9,701万7千円で、全体の23.5%を占めています。人件費は同0.5%増の16億9,775万4千円で、扶助費と公債費を合わせた義務的経費が全体の34.1%を占めています。また、普通建設事業費と災害復旧費を合わせた投資的経費が全体の12.2%を占めています。